



HOKKAIDO UNIVERSITY

AMBITIOUS LEADER'S PROGRAM

Fostering Future Leaders to Open New Frontiers in Materials Science

Ambitious 物質科学セミナー

貧困・格差・ジェンダー、そして科学 Poverty, Inequality, Gender & Science

～国際協力・学際協力による解決を待っている課題～
Challenges awaiting resolution by global & interdisciplinary cooperation

日本数学会ジャーナリスト・イン・レジデンス

ALP 科学技術コミュニケーション・リメディアル講習

Projection in English, Speech in Japanese



三輪 佳子氏 Ms. MIWA Yoshiko

フリーランス・ライター

大学院修士課程（物理学・光情報処理）修了後、企業内研究者を経てフリーランス・ライターになる。科学・技術を主な守備範囲としていたが、中途障害者となった経験から社会福祉・社会保障に関する執筆にも取り組む。2014年には一連の記事と単行本「生活保護リアル」（日本評論社）で貧困ジャーナリズム大賞を受賞。現在は大学院博士課程で生活保護政策の政治過程も研究している。

平成 28 年 10 月 19 日 (水) 16:30～18:00
北海道大学理学部 4 号館 4-501 室 (若手研究者交流室)

大学（人）には社会から何が期待されているのでしょうか。それは国際社会でどう位置づけられるのでしょうか。

国連は2015年「アジェンダ2030：持続可能な開発目標（SDGs）」で、貧困・健康・ジェンダー・経済成長・産業・技術革新・環境などでの全世界の協力を求めました。また1990年米国連邦法「Americans with Disabilities Act（ADA、アメリカ障害者法）」の制定プロセスでは、Science誌発行元である全米科学振興協会（AAAS）の社会活動が大きな推進力となっています。

このような国連の科学技術政策や科学界の国際的な社会的活動を紹介し、日本国内の身近な社会問題も考えます。

連絡先：北海道大学大学院 理学研究院 ALP 推進室 藤吉隆雄
Tel: 011-706-4491. fuiivoshi@sci.hokudai.ac.jp